

参加費無料

どなたでも
ご参加いただけます

2025

3/9^{SUN}

10:30 ~ 17:00

対面とオンラインの
ハイブリッド開催

会場：筑波大学 筑波キャンパス
理科系 C 棟・C103

主催：筑波大学 山岳科学センター、
環境系学位プログラム

『2100年の
山や森を守るために』

筑波大学 山岳科学センター・環境系学位プログラム 合同シンポジウム

お申込み方法

対面・オンライン参加ともに、下記 URL
または二次元コードから事前申込をお願い
します。定員になり次第、締め切りと
なりますのでご了承ください。

※お電話での参加申込みは行っておりません。

〈参加申し込みURL〉

[https://forms.office.com/
r/G2N0Cgse0k](https://forms.office.com/r/G2N0Cgse0k)



開催趣旨

地球規模の気候変動により、自然環境が急速に変化し、山間地域では、多くの災害が発生しています。また、今後急速に人口が減少し、社会構造が急激に変化し、山間地域の過疎化が進行し、「限界集落」が全国各地で顕在化しています。一方で、生態系などの自然環境の保全、多様な地域の経済活動や文化の維持・発展、国土や資源の管理や安全保障などのためには、山間地域も含め、幅広く分散して暮らしを営んでいけるような社会が必要であるように思われます。

そこで、本シンポジウムでは、過去から現在に至る森や山と人々の関係について振り返り、環境学、山岳科学、森林科学などの様々な視点から、2100年の山や森の環境はどのように変化しているのでしょうか？ 2100年に生きる人々が山や森とどんな関係でいるのでしょうか？ といった問いについて、考えようと思います。

プログラム

10:30 開会	挨拶 : 中田 和人 (筑波大学 生命環境系長)・角替 敏昭 (筑波大学 生命地球科学研究群長) 趣旨説明: 内田 太郎 (筑波大学 環境学学位プログラムリーダー)
10:40 ~ 11:20	基調講演 1 なぜ人には森が必要なのだろう？ — 自立的な中山間地の可能性を考えるために — 大手 信人 (京都大学大学院 情報学研究科 教授)
11:20 ~ 12:00	基調講演 2 国土保全と流域治水 國友 優 (国土交通省 水管理・国土保全局 砂防計画課長)
12:00 ~ 13:10	休憩 / ポスター見学 (対面開催のみ: 理科系棟 B107)
13:10 ~ 13:30	話題提供 1 中部山岳地域の水循環 山川 陽祐 (筑波大学 山岳科学センター 井川演習林長)
13:30 ~ 13:50	話題提供 2 鉱山跡地の土壌と植生 山路 恵子 (筑波大学 環境科学学位プログラムリーダー)
13:50 ~ 14:10	話題提供 3 茅利用が支える中山間地域の生態系サービスの現状と課題 廣田 充 (筑波大学 山岳科学学位プログラムリーダー)
14:10 ~ 15:10	学生によるポスターセッション (対面開催のみ: 理科系棟 B107)
15:10 ~ 15:40	基調講演 3 山地荒廃をめぐる防災の在来知: 歴史民俗学の視点から 渡部 圭一 (筑波大学 人文社会系 准教授)
15:45 ~ 16:50	パネルディスカッション 「2100年の山や森、山村について考える: 山地地域に分散してひとびとが暮らす意味」 モデレーター: 内田 太郎 (筑波大学 環境学学位プログラムリーダー)
16:50 閉会	挨拶: 津村 義彦 (筑波大学 山岳科学センター長)

i お問い合わせ

筑波大学 山岳科学センター事務室 ☎029-853-2546
(お電話での参加申込みは行っていません)

🌐 <https://msc.tsukuba.ac.jp> 📍 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 環境防災研究棟 101室



お問い合わせフォーム